

くのロータリアンがいらっしゃるのに、産業立地の三条にあって不思議に思えてならないのである。

ロータリーは変わる。

坂本竜馬のことは、彼は下級武士の出身であった為、最初はこれからは刀の時代と言った。竜馬の友人が次に会った時には、いやこれからはピストルの時代と言った。刀もピストルも戦うための武器である。次に友人に会った時には万国公法の時代と言った。話し合いで平和裡に問題解決しようと言った。リーダーは自分を時代に合わせ変えることが大事であり、変える努力が必要。ロータリーも時代と共に変わる。ロータリーの会長・幹事の経験をして欲しい。地区に出て発言して欲しい。明後年3クラブからガバナーに出て欲しいと願っている昨今である。



11月19日例会：卓話「ブロードバンドネットワークの活用について」
NTT東日本法人営業部長 玉木千太郎様

11月26日例会：今村 泉会員
12月3日例会：年次総会
12月10日例会：卓話 山上茂夫会員
12月17日例会：卓話 神田敬宏会員
12月24日例会：クリスマスパーティー
12月31日例会：年末のため休会
1月7日例会：新春例会

Sow the Seeds of Love



会長/梨木 建夫
幹事/五十嵐 茂
SAA/佐藤 弘志

三條北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日
2002. 11. 12
累計 No 778
当年 No 19

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事： 3RC合同例会 18:30点鐘 於 銭心亭 おゝ乃
卓話「ロータリーの今昔」中條耕二会員

出席： 本日の出席 60名中 46名(内記帳2名)
先々週の出席率 60名中 51名 85.0%(前年同期78.69%)

【10月の出席状況：会員数60名 例会数5回 平均出席率82.33%(前年同月84.92%)】

先週のメイクアップ： 11月6日三条RCへ 青木省一さん、安田貞夫さん、柄沢憲司さん
高橋彰雄さん、佐藤文夫さん、石川勝行さん
山口龍二さん

11日三条南RCへ 岡田 健さん、丸山誠一さん、安田貞夫さん
佐藤啓策さん、高橋彰雄さん、笹原壮玄さん
外山晴一さん

ビジター： 三条RCより 五十嵐晋三さん、加藤紋次郎さん

三条南RCより 田代徳太郎さん、田中正佐久さん、蕨沢喜一郎さん

飯山勝義さん、鈴木 武さん、坪井正康さん、武藤昭三さん

会長挨拶： 梨木 建夫

こんばんは。本日はご多用中にもかかわらず3クラブ合同例会に三条RC36人、三条南RC46人、我が北RC43人合計125人の大勢のご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。私は今回、主管の北クラブ梨木でございます。どうぞよろしくお願い致します。始めにこのような席でご挨拶させて頂くことは誠に僭越であり又、光栄でございます。この場を与えて頂きました皆様へ感謝致しますと共にまずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、3クラブ合同例会は今回で12回目となり、3クラブ持ち廻りの回数は、兄弟クラブ末弟の我が北クラブで4回目の担当となります。この間、毎年1回皆様方が一堂に会しロータリー活動に対しての真摯な姿勢でのいろいろなお話、例えば会員増強の人員確保や財団の資金調達の苦労話な

ど、紆余曲折が過去幾多もあったと伺っております。しかし、先達の皆様のなみなみならぬお骨折りの甲斐あって、こんにちまで無事成功裡に収まりました事は誠に喜ばしい事で先輩各位に対し深く敬意を表すものであります。

設立当時の苦労とご努力の程が偲ばれ、いかばかりであったかと推察されますが、どうぞ今日は思う存分ロータリー活動の諸々のお話で十二分な討論を重ね、より良い素晴らしいクラブ作りを本日以降も目指して頂きたいと考え合わせ、この機会にロータリアン同志、膝突き合わせて心ゆくまで酒杯を重ねて、秋の夜長に懇親を深めてお楽しみ下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、今回の合同例会のパーティー費用の一部を3RC共同で行う社会奉仕事業にしたいと考え、I.Mでのテーマ「環境保全・緑化推進」から市内小学校で役立てさせていただくよう、3クラブ会長幹事会で、又、各理事会で決めさせて頂きましたのでご報告申し上げます。それではこの後、我がクラブの中條耕二氏の卓話がございますのでご拝聴頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。以上簡単ではございますが会長挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告： なし

ニコニコボックス：	12日現在累計	483,000円
-----------	---------	----------

コメントなし

卓 話： 「ロータリーの今昔」 三条北RC 中條耕二会員

皆さん今晩は。10月17日三条法人会の設立15周年記念講師としてジェームス三木（本名山下清泉）氏をお招きし、ご講演を1時間半にわたりお願い致しました。彼曰く、主役条件のテーマに2つあると、1つはトラブル解決能力を持っている人、もう1つ人生を持っている人、自分の人生哲学を持っている人であると言った。そして更に知識と知恵の違い学校で知識は与えられるし、いつでも学習できる。しかしトラブルを解決する知恵は学校では教えない。トラブル解決を身につけるのが主役の条件となる。

日本人は外国から低く見られるのは生活が豊かでも人生が薄いこと、敗戦後の日本のテーマは生活の向上だけであった。人生とは個人のもの、自分の持ち時間と生きるポリシーを持っている人が人生の哲学を持っている人であると説かれ、講演をお聞きになった方はお解りであろうと思いますが、「ロータリーとはいったいなんだ」と問われれば自分の人生を意識し未来に向かって方向を決める絶対の場所でないのではなかろうか。

更にジェームス三木氏は私と奥様を隣に置いて、私の質問、三条に何回来られたかの答えが何回も来た。今の家内も新潟の関屋の出身とか言っていた。私は美人ですねと言ったらにっこり笑った。奥様も頬を少し赤らめていた。すかさずジェームス三木氏曰く、三条座という所はいまありますか。いや、もうなくなりました。実は私は新潟県の生んだ三波春夫先生の前座歌手を13年間やったんだ。三波さんを引き出す歌手として唄を歌う、とうとうヒット曲はゼロであったそうであります。

ジェームス三木の唯一のライバル、フランク永井はご存知の曲「君恋し」や「有楽町で会いまし

ずやめる3年以内の会員が圧倒的に多い。その原因はただの昼食会だけになっている。ロータリーの価値を高めるにはどうしたら良いか。現ガバナーは56クラブ5名づつ増やせという。果たして何%達成できるか。まごまごすると5%減少のクラブの続発である。ロータリアンの退会をどうしたら防止できるかという深刻な問題となりました。

私は高校1年の時に父を亡くして、人生観を持つこと、人生の設計をすること、28歳でロータリークラブに入会して良かったことは、ロータリーには先輩が多勢おられ生き様が大きく参考となり、生きた勉強となったことであります。若いとき入会したお陰でJCにも参画でき、同期の人の考え方、生き様、先輩の生き方を例会や親睦会を通じて理解できた。ある時、ローターアクトの講義中に山本源一郎先生が亡くなられた。本当に突然亡くなられた。多忙を極めておられたのだろう。奥様と旅行に行くのが夢であると日頃言っておられたことを思い出します。先輩の多くは日本経済の復興のため日夜働いておられた。経営者には日曜日はない。働くのみであったが、戦前からの経営者には温かみと大きな愛が経営の中にあったと思う。最近、経営者は厳しい現実の中でどう生きるかが最前提であり、損得の価値で生きている人が多い。これも致し方ないことであるが、かく言う私もそうであった。人生設計の中で65歳を過ぎて漸く少しづつ自由時間が出てきた。物の見方も考え方も大きく変化してゆく自分に気がついた。ロータリーの奉仕の理想を掲げているが自分はどのような奉仕が可能か今一生懸命に考えている。余暇の活用と言われているがどのような生き方がよいのか問いながら、ロータリーが1番気が楽に出席させて頂いているオアシスである。

ロータリーの女性会員の進出である。これは時代の流れからみて当然であり、会員増強の大きな柱となることと思う。県内74名全国2810名である。

野沢ガバナーの提唱されている人道的プログラム知的障害者の援助活動に少し勉強を始めた。ロータリーの第一は職業奉仕であることは当然であるが企業の中での知的障害者のことにこれから関心を持つことも大切なことと同士共々考えている。

異質の人間とつき合ってみろということもロータリークラブに入会してよく人が言います。いつも同じ人間とつき合っているのも良いが、孫とつき合ってみるとお世辞のない本音の会話が出来る。一旦男が表に出ると本音でない会話、相手に会わせる会話が多い。物事を違った視点で見るとなる。梓にはまらない生活の楽しさも味があるのではないかと思う。

「たまには鈍行列車の旅に出よ」新幹線が三条にできて20年となった。飛行機に乗ったり、忙しいことが日常になったようであるが、スローライフという言葉どおりに鈍行列車に乗って旅するのも良いことである。スピードから出るストレスも多いと思うが、これもかなわぬ経営者が多い。人間はもっとのんびりしてきたはずである。情報のスピードと同じ歩調でないとテンポに合わない人が増えたのではないか。例会をゆっくりと味わうゆとりがないとかえって良い考え方や大きな視野が得られないのではと思っている。

今年ロータリアンや企業関係者が叙勲の荣誉に浴された。三条クラブの広岡さん、熊倉さん、三条南クラブの坂本さん、佐藤蔵六さん、信金の理事長の杉野さん、以前には田中正左久さんや多数の物故された方や今年辞められた鈴木さんがおられる。しかし、産業界からは誰一人名誉市民になっておられない。三条市の産業界に貢献されているコロナの社長さんやコメリ、ムサシの社長や多